

平成29年第4回（9月）
西原町議会定例会
一般質問通告

質問日	質問議員		
9月19日（火） 4人	① 宮里芳男	② 上里善清	③ 与那嶺義雄
	④ 大城誠一		
9月20日（水） 4人	⑤ 真栄城哲	⑥ 平良正行	⑦ 与儀清
	⑧ 喜納昌盛		
9月21日（木） 4人	⑨ 大城好弘	⑩ 大城純孝	⑪ 前里光信
	⑫ 伊計裕子		
9月22日（金） 4人	⑬ 屋比久満	⑭ 伊波時男	⑮ 宮里洋史
	⑯ 長浜ひろみ		

一般質問通告内容(平成29年 第4回定例会)

質問者	① 宮里芳男 議員	質問の相手
1. 道路行政について	<p>(1) 県道浦添西原線について</p> <p>坂田ハイツ自治会から提出された請願書の説明会を昨年12月1日に中部土木事務所、町土木課と行い、その後中部土木事務所は持ち帰って検討し、検討結果の説明会を平成29年7月25日に開催された。坂田ハイツ自治会からの要望に対し少しの改善もなく「当初の計画で進めていきたい」との説明でした。理由として、「直進道路にすると現況位置では高低差が生じ大変困難であるため、歩道橋を検討していく」とのことでした。又ボックス型工法についての要望に対して、「渡り道路の6mをボックス型工法にしたい」との説明でした。坂田ハイツ自治会より「騒音、粉塵等が大変なので20mはボックス型工法にして欲しい」と再度要望し、中部土木事務所としては「再検討する」とのことでした。</p> <p>ア. その後、中部土木事務所と西原町との話し合いはされたか。</p> <p>イ. 今後の話し合いについてはいつ頃になるか。</p> <p>(2) 県道那覇北中城線について</p> <p>坂田ハイツ入口付近で着工している道路工事がどのように完成するか住民は関心を持っているが、住民説明会の必要はないか。</p> <p>(3) 県道浦添西原線、那覇北中城線それぞれの進捗状況を伺います。</p>	町長
2. 環境整備について	<p>(1) 環境アセスメント調査の実施の報告が中部土木事務所からあり、坂田ハイツ2箇所、翁長側3箇所調査を行い、結果として4箇所地すべり変動が確認されたと報告あ</p>	町長

	<p>りました。坂田ハイツ側 1 箇所、翁長側（児童公園の下側）3 箇所が地すべり変動種別は変動 C と判定された。（6 月 19 日の大雨で地すべりが 2 箇所おきています）</p> <p>ア. 翁長 1 号線側の地すべり対策はどのように行うのか</p> <p>(2) 町内の土砂災害危険個所の指定について</p> <p>ア. 西原町の指定した土砂災害指定箇所は。</p> <p>イ. どのような調査を誰が指定するのか、毎年調査し見直す必要があるのではないか。</p>	
<p>3. まちづくりについて</p>	<p>(1) 大型 MICE 開業について先送りの報道がありました。2020 年 9 月供用開始が遅れる見込みであり、2020 年 10 月 MICE 施設のこけら落としを飾る世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン」の開催ができなくなる</p> <p>ア. 今後の MICE 事業スケジュール等の課題を伺います。又県と町の連携（役割分担）及び与那原町との連携を伺います。</p> <p>イ. MICE エリア周辺の土地利用計画、地主との合意形成、進捗状況を伺います。</p> <p>ウ. 国からの一括交付金が減額された場合、西原町の負担も考えられるか。</p> <p>エ. MICE 事業に関わる新たな部署の新設は必要と思うのですが。</p>	<p>町 長</p>
	<p>(2) 西原町は東海岸の大型 MICE 施設誘致を起爆剤に、MICE エリアの限られた一部地域だけの開発だけではなく、町全体のまちづくりのビジョンを描き、住民に示していくことが求められている</p> <p>ア. 行政にとって町づくり将来ビジョンの企画立案を策定する事が重要だと思えますが。</p>	<p>町 長</p>

質問者	② 上 里 善 清 議 員	質問の相手														
1. 安心・安全について	<p>地球の温暖化に伴って、風水害を含む未曾有な災害が各地で発生している。6月19日西原町においても大雨が降りつづいたため、小波津川が氾濫し、平園地域において床下上浸水等の大きな被害がありました。被害の状況と要因・迅速な被災者支援・今後の防災対策についてお伺いします。</p> <p>(1) 被害の状況</p> <table border="0"> <tr> <td>ア. 床下浸水</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>イ. 床上浸水</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>ウ. 不能車両</td> <td>台数</td> </tr> <tr> <td>エ. 農産物</td> <td>被害金額</td> </tr> <tr> <td>オ. 商業</td> <td>被害金額</td> </tr> <tr> <td>カ. 土砂災害</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>キ. 地すべり被害</td> <td>件数</td> </tr> </table> <p>おおよその被害総額</p> <p>(2) 小波津川氾濫の要因</p> <p>(3) 土砂崩れ危険地域の対策</p> <p>(4) 被災者支援策</p> <p>(5) 防災訓練の効果が、今回の災害に活かされたか。</p>	ア. 床下浸水	件数	イ. 床上浸水	件数	ウ. 不能車両	台数	エ. 農産物	被害金額	オ. 商業	被害金額	カ. 土砂災害	件数	キ. 地すべり被害	件数	町 長
ア. 床下浸水	件数															
イ. 床上浸水	件数															
ウ. 不能車両	台数															
エ. 農産物	被害金額															
オ. 商業	被害金額															
カ. 土砂災害	件数															
キ. 地すべり被害	件数															
2. 自治会の役割と課題について	<p>みんなが住みよく誇りに思えるまちづくりを進めるためには、行政と協力し、文化・レクリエーション活動・健康づくり等、自主的な考えで実践することが大切です。コミュニティづくりはまちづくりの基礎であり、活動を実質的に推し進めていくのが、自治会の大きな役割だと思います。しかし、要となる自治会拠点（公民館）の状況を調べますと、拠点なし（個人宅提供）、コンクリートが剥離し老朽化した公民館（危険構造物）が多く、活動拠点として不適格な状況であります。まさに、自治会活動崩壊の危機といっても過言ではありません。そこで、課題解決の糸口として以下の提案を致します。</p>	町 長														

<p>3. MICE 施設について</p>	<p>(1) 一括交付金を活用し防災グッズ保管施設を造り、自治会に指定管理をさせる方法は出来ないか。</p> <p>(2) 土地を所有していない自治会に対し、町保有の保留地を等価交換し、賃貸できないか。</p> <p>採算性において、県と内閣府との認識の違いにより、供用の遅れが判明しております。どの程度の遅れになるのか。また、西原町の MICE 施設背後地のまちづくりに遅れが生じるのかお伺いします。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 道路行政について</p>	<p>道路は、交通機能のみならず、多様な機能を持つ総合的なインフラであり、MICE 施設と連動して整備を急ぐ必要がある。現在の進捗状況と当初予定より遅れている要因を伺います。</p> <p>(1) 仲伊保兼久線 進捗率 % 完成予定 年 遅れの要因</p> <p>(2) 東崎兼久線 進捗率 % 完成予定 年 遅れの要因</p> <p>(3) 兼久安室線 進捗率 % 完成予定 年 遅れの要因</p> <p>(4) 小波津北・南線 進捗率 % 完成予定 年 遅れの要因</p> <p>(5) 浦添西原線 進捗率 % 完成予定 年 遅れの要因</p> <p>(6) 工業専用地域道路 進捗率 % 完成予定 年 遅れの要因</p>	<p>町 長</p>

質問者	③ 与那嶺 義雄 議員	質問の相手
1. 残り5年間の一括交付金の活用について	<p>10年をめぐりに実施されている沖縄振興一括交付金制度も折り返し点を迎え、あと5年を残すだけとなった。この制度は、一定の制約があるとはいえ、各市町村が企画力を発揮して、地域の特性を生かした柔軟な使い道ができる。これまでの事業を総括し、残り5年間の制度をどう活用するかは、今後の西原町の街づくりを大きく左右する。</p> <p>① 今後5年間の一括交付金事業のビジョンを示してほしい。</p> <p>② 本町の財政状況に鑑み、交付金配分額のどの程度の活用が可能なのか。</p>	町長
2. 町内各行政区の集会所の施設整備について	<p>この点に関しては、昨年12月議会にも質問をした。明らかに「自治公民館」施設では、制度に該当せず事業化が困難とする町長と議論は平行線に終わった。8月に入り、地元新聞には南風原町における一括交付金を活用した2つの複合施設の建設記事が掲載された。また、それ以前にも「災害時避難施設改修事業」で町内5地区の自治公民館を改修。さらに、「災害時等避難施設整備事業」で新規の集会施設を整備している。新聞報道を見て、お隣の南風原町で出来てなぜ西原町ではできないのか、と疑問に思う町民も少なくない。</p> <p>町行政区自治会長会は町に対して、今後老朽化し建て替え整備を要する自治会や未整備の自治会を含む11自治会の公民館施設整備に関する要請を行っている。「協働のまち」づくりは、具体的には町民が町内各自治会のコミュニティー活動を介して、町民が町行政と一体となって町づくりに参加する形態をとる。地域のコミュニティー活動の拠点が自治会公民館であり、町はその整備に関して「公民館」という名称にこだわらず、南風原町方式をも参考にして積極的に一括交付金を活用すべきではないか。</p>	町長

<p>3. 尚円王記念事業について</p>	<p>これまで、この事業は第2尚氏の開祖尚円王の旧宅である内間御殿の整備と並行して、2015年度は尚円王生誕600年記念事業として約1,100万円の予算で8つの事業が展開され、一定の事業成果も見られる。</p> <p>今年度は尚円王即位 550 年記念事業が企画され、約1,400万円の予算が措置された。琉球史上の英雄・尚円王は西原町と縁の深い人物であり、彼の足跡や史跡文化財を通して町民が琉球の歴史に触れることは大きな意義がある。それは、同時代の第一尚氏の歴代の王や中城護佐丸按司、勝連グスクの阿麻和利按司なども同様で、ゆかりの市町村では地域活性化策として様々な事業が展開されている。</p> <p>しかし、事業実施にあたっては理念と目標を明確にし、計画的な事業展開が大切だ。また、一括交付金をあてにした大判振る舞いの的な予算措置、華美になりすぎても問題だ。</p> <p>① 改めて、即位 550 年事業の理念。目標について説明を求めたい。</p> <p>② しま言葉の継承、琉球の歴史文化の学習は、ウチナーンチュのアイデンティティーを確立する上からも重要だ。生誕600年事業により、町民にもその認識が共有されつつある。より体系的な学習のために教育特区を活用した中城村のように、学校現場での歴史・文化教育事業を検討してはどうか。</p>
<p>4. 歴史文化基本構想の今後の展開について</p>	<p>町の史跡や文化財等の保存活用の基本方針を示す歴史文化基本構想が 2015・2016 年度で策定された。これによって、個別単発的な事業展開から、総合的長期的な観点からの本町の歴史文化財行政を推進する基盤ができた。この基本構想の策定は大変有意義なものだ。今後は、基本構想の目標期間 10 年で、いかに計画に基づき着実に事業を推進するかが大事だ。</p> <p>① 今後の展開について説明をいただきたい。</p> <p>② 事業を推進するうえで財源の確保が不可欠だ。財政部門とも十分な調整がなされているか。</p>

質問者	④ 大 城 誠 一 議 員	質問の相手
1. 学校給食の安全について	<p>(1) 平成 23 年 3 月に起きた東京電力福島第 1 原子力発電所の事故で、食品の放射能汚染が心配される中、琉球新報は平成 23 年 11 月に県内 41 市町村教育委員を対象に、学校給食食材の放射能対策アンケートを実施している。</p> <p>このアンケートでは、9 月以降、放射能検査対象地域(17 都県)の食材を「仕入れない」や仕入れる場合でも必ず検査で基準値以下の「確認を経る」など、全市町村で独自に制限や条件を設けていることが分かったとある。</p> <p>西原町の対応としては、問 1 野菜の主な仕入先は「17 都県以外の県外」、問 2 9 月 1 日以降、県外から仕入れる食材についての放射能対策は、「検査で基準値以上でない」と確認できれば、検査対象地域から仕入れている。」「できるだけ検査対象地域外から食材を仕入れるようにしているが、数や品が足りない場合は仕入れている。」、問 3 教育委員会として給食食材の産地公表の方針については「公表する方向性」問 4 国の暫定基準値をクリアした食材は安全と考えているかについては、「はい」と回答している。</p> <p>一方、沖縄県学校給食会は、平成 23 年 9 月 21 日付「福島第一原発事故に起因する学校給食用取扱物資の安全性に関する考え方」で、基本物資(小麦・米・牛乳・パン・麺)供給は安全性が確保されていること並びに一般物資(おかず食品)については該当する 17 都県で生産された原料を使用した物資、もしくは 17 都県の加工場で製造された物資については、放射能検査を実施し安全を確認の上、供給するとある。</p> <p>このことを踏まえ次の事について聞きます。</p> <p>ア. 放射能検査対象地域 17 都県指定されていましたが現在も同様に指定されていますか。指定されている県名について</p> <p>イ. 飲み物や食べ物のセシウム 137、ヨウ素 131 暫定基準値について</p> <p>ウ. 給食食材調達の対応方針は、23 年 11 月のアンケートの回答内容から変更がありますか。</p> <p>エ. 沖縄県学校給食会の平成 23 年 9 月 21 日付「福島</p>	教育長

	<p>第一原発事故に起因する学校給食用取扱物資の安全性に関する考え方」は新しく示されたものがありますか。</p> <p>(2) 食物アレルギー対策としての教職員らの対応体制等について聞く。2012年12月に小学校5年の女兒が給食の誤食によるアナフィラキシーショックで死亡した東京都調布市では、学校や保育所に誤食を防ぐための対策を徹底させるとともに、同市在の病院と連携して「アナフィラキシー対応ホットライン」を開設したとの報道がある。</p> <p>ア. 抗アレルギー作用のある薬剤（エピペン等）を持参して登校する児童生徒はいるのか。</p> <p>イ. 保育所や学校の教職員に食物アレルギーに関する啓発研修の実施状況は。</p> <p>ウ. 病院と連携した「アナフィラキシー対応ホットライン」を開設してショック症状が起こった時に迅速、適切に対応できる体制を構築する考えは。</p>	
<p>2. 新3学期制への移行について</p>	<p>(1) 本町での2学期制は、平成19年度スタート以来平成28年で10年目となる事から、新3学期制への移行について取り上げてきました。新3学期制の効果としては、「9月1日を2学期始業日とせず、始業日を早めることで授業時間の確保ができる可能となること」「児童生徒達の学力向上を考えた時には、短いスパーンで指導評価を行うことが効果的である。それにより、3学期制の方が評価の回数が増え、児童生徒の学びの状況の振り返りを行うことができ、個に応じた支援につながる。」「3学期制では、長期休業前に評価が示され課題が明確になるので、こどもが長期休業中に取り組むべき課題が明確になる。」「長期休業が終わった後の生活リズムを整える取り組みが4回から3回に減ることで基本的な生活習慣の定着につながる。」「2学期制であった秋休みの2日間を春休みに加えることで、春休みに1年間の振り返りを行うことができる。」との観点から新3学期制への移行を提案します。教育長の見解をお</p>	<p>教育長</p>

<p>3. 東崎兼久線 街路整備事業について</p>	<p>聞きします。</p> <p>(2) 平成 28 年 9 月定例議会において、教育部長は「まず 6 月に第 1 回目の 2 学期制検討委員会開催し、7 月に保護者及び町内の幼稚園、小学校、中学校の全教職員へのアンケート調査を実施した。今後アンケート集計が終わりしだい、2 回目の検討委員会を開催する」との答弁でした。</p> <p>保護者からは、中学校では、「長期休業後の 9 月中旬に期末テストがあるが、その時期は地区陸や体育祭等の練習などがあり勉強に集中できない。」などの苦情が寄せられている。</p> <p>ア. 2 学期制検討委員会の構成メンバーについてお聞きします。</p> <p>イ. 保護者と教職員ごとのアンケート配布件数と回収件数についてお聞きします。</p> <p>ウ. 2 学期制検証に係るアンケート設問内容についての説明求めます。</p> <p>エ. 集計結果についてお聞きします。</p> <p>東崎兼久線は、町道兼久仲伊保線から国道 3 2 9 号線と交差して町道与那城呉屋線までの、幅員 2 0 m の街路である。本路線は、歩道がなく危険な町道兼久線に替わる地域交通の安全性確保の上から早期の整備が待たれている。本街路整備事業の完了時期についてお聞きします。</p>	<p>町 長</p>
--------------------------------	---	------------

質問者	⑤ 真栄城 哲 議員	質問の相手
1. 町民栄誉賞について	<p>(1) 4年に一度、オランダで開かれる「世界音楽コンクール」の第18回大会で、西原高校マーチングバンド部が、ショー部門で12年ぶりに「ベストインターナショナル賞」に輝きました。</p> <p>同校は、2001年、2005年にも同賞を受賞しており、沖縄県はもちろんのこと全国、世界へその名を轟かせています。また、同校は町内に所在する事から、これまで本町の多くの行事に賛同協力する事で、町民に多くの感動を与え、又西原町のピーアールに寄与してきました。</p> <p>これまでの功績を考えますと西原高校マーチングバンド部は「町民栄誉賞」の設置規定からも検討に値すると思います。</p> <p>ア. 西原高校マーチングバンド部への「町民栄誉賞」授与について、町長のお考えを伺います。</p>	町長
2. 財源確保について	<p>(1) 依然として、非常に厳しい町の財政状況にあります。国保の赤字解消等の影響が大きな原因であるという事は十分理解できます。しかしながら、この問題は以前から把握されている事も確かであり、予測しながら財政運営がなされていれば、現在とは違った財政状況ではなかったかという思いがあります。</p> <p>以前より、新たな財源の確保が急務であると、提案をさせて頂いておりますが、そのことを踏まえて、以下を伺います。</p> <p>ア. 12月の繁忙期を迎える「ふるさと納税」の強化に向けた現在の進捗状況を伺います。</p> <p>イ. これまで、町内外から多くの企業が町内に移転や進出を申し出てきたと思います。本町は、那覇市近郊である事や東海岸地域に対しての流通の面からも、企業にとって魅力のある場所であります。又企業を誘致する事で、新たな町の財源の確保や雇用の創出が考えられ、大きな力となると考えます。そのことを踏まえて</p>	町長

	<p>以下を伺います。</p> <p>a. 直近5年間に、申し出のあった企業は何社で、誘致できた企業は何社か。</p> <p>b. 誘致できなかった企業があった場合、その要因は何か。</p> <p>c. 企業誘致についての町長のお考えを伺います。</p> <p>d. 企業誘致及び雇用創出を目指し、新たな課の設置等が必要と考えますが、町長のお考えを伺います。</p> <p>ウ. 年間80万人が訪れるとも言われている「きらきらビーチ」。ビーチ利用者から、一人100円の(仮)観光税を導入して、新財源にすることも検討するべきではないか。</p>	
<p>3. 町の農商工業の振興計画と観光振興について</p>	<p>(1) 6月定例会にて、本町の農業・商業・工業の振興計画策定をすることが、観光振興にもつながっていくと提案いたしました。そのことにつきまして、早急に振興計画の策定に着手する事を提案致します。そのことを踏まえて、以下を伺います。</p> <p>ア. 振興計画策定の早急な着手について町長のお考えを伺います。</p> <p>イ. 単体の自治体では、観光資源が乏しく、サンライズ協議会で広域的な観光協会の設立を目指すべきだと考えます。町長のお考えを伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 町民の健康問題について</p>	<p>(1) 厚生労働省のデータによると、65歳未満の死亡率が2004年から2014年の11年間で我が沖縄県は、10年間ワースト1位というショッキングな結果が示されています。ちなみに2011年は、2位でありましたが、その年は、東日本大震災の年であります。</p>	<p>町 長</p>

	<p>沖縄県は、戦後、食文化の大きな変化で、高脂肪の食事をより蓄積された脂肪が数々の疾患を引き起こす一つの要因となっています。それを踏まえて、以下を伺います。</p> <p>ア. 県内における本町の65歳未満の死亡率は、どの位置にありますか。</p> <p>イ. 以前、「広報にしはら」でも取り上げられましたが、町民へ食生活改善の啓蒙や対策はどの様に行われ、その効果はどの様に表れているかを伺います。</p>	
質問者	⑥ 平 良 正 行 議 員	質問の相手
1. 農産物の生産量について	(1) 平成28年度西原町で生産された農産物の種類と生産量を伺いたい。	町 長
2. 特産品開発について	<p>(1) 西原町では平成23年農業生産法人西原ファームを設立し町特産品として、シマナーサーターアンダギー、シマナーそば麺、ニガナジュース等の開発に取り組んできましたが、かんばしい成績を残すことができませんでした。昨年からは農家の間で西原町が新たに特産品開発に取り組んでいるとの話がちらほら聞こえてきます。特産品開発がどこまで進んでいるか伺いたい。</p> <p>ア. 特産品として考えている農産物の種類、植え付け面積農家人数を伺いたい。</p> <p>イ. 販売元はどうするのか、また、将来性についてはどうか伺いたい。</p>	町 長

<p>3. 地産地消について</p>	<p>地産地消は、地域で生産されたものを、その地域で消費することです。地産地消を意識して農産物を生産、販売する生産者や、買い物をする消費者が増えています。西原町は平成 30 年度に農水産物・販売・加工観光拠点施設が完成します。生産者、消費者の両者から大きな期待が寄せられています。</p> <p>(1) 平成 28 年度学校給食における農産物の使用状況について伺いたい。</p> <p>ア. 県内産、県外産の使用状況を伺いたい。 野菜の種類、使用量、販売金額</p> <p>イ. 町内産の使用状況を伺いたい。 野菜の種類、使用量、販売金額</p> <p>ウ. 町内産野菜がどのような作物が作られているか、調査や、情報提供を受けたことがあるか伺いたい。</p> <p>エ. 地元産農産物を使うには多大な努力が必要だと思いが今までどのような対策してきたか伺いたい。</p> <p>オ. 生産農家から農産物の購入依頼があったか伺いたい。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 公共工事の入札制度について</p>	<p>(1) 平成 29 年 6 月 20 日の新聞に県土木建築部は昨年 9 月、県建設業協会と県中小建設業協会、県電気管工事協会を通じて調査して、土木工事で 191 業者、建築・電気・管工事で 177 業者から回答を得ている。このうち、「入札辞退」または、「入札に参加しなかったことがある」と答えたのは土木が全体の 88% (168 件)、建築・電気・管が 79.7% (141 件)。ほとんどの業者が入札の辞退や不参加の経験が「ある」と調査結果が新聞で報道されているが、西原町ではそのような事例はないか伺いたい。</p> <p>ア. 県では最低制限価格の上限が撤廃されているが、西原町ではどうなっているか伺いたい。</p> <p>イ. 県は入札状況を調査依頼して、今の状況がわかったと思いますが、町でも調査の予定があるか伺いたい。</p>	<p>町 長</p>

	ウ. 工事発注をするとき、障害物もなくし、工事できる状態で工事を発注すると思いますが、実態を伺いたい。	
質問者	⑦ 与儀清議員	質問の相手
1. 西原町における綱引きについて	<p>綱引きといえば、日本本土においては一般的に1本の綱を引き合うのが普通であるが、沖縄においては二手に分かれ雄綱と雌綱をカヌチ棒でつなぎ引き合うのが通例であり、綱引きは沖縄のほとんどの地域で存在するわけで、250ヶ所（過去・現在合計すると）で行われた祭りである。日時で言うと旧暦の6月25日に行われる6月綱引きと8月一五夜の綱引きに大別される。綱引きは本町においても広域で盛んに行われている唯一の伝統ある祭りであり、保護、継続は町の責務である。この前、8月23日のTVで「落ちる綱に落ちる支度 与那原大綱曳の知られざる闘い」とやっておりましたが、それは我謝綱の専売特許であります。それで、お聞きします。</p> <p>(1) 本町の綱引きの現状（何ヶ所、日時は、何回引く他）推移（過去に行っていた所）</p> <p>(2) 綱引きも神事であり、現状、ウガンなどはどうなっているか。</p> <p>(3) 綱打ちの日程と日数 また、毎年作り変えているのか。</p> <p>(4) 各部落の綱引きの意味づけはどうなっているのか。</p> <p>(5) 綱引き後の余興は。綱の処理は。</p> <p>(6) スネー、旗、シタクなど、西原町の綱引きの特徴はありますか。</p> <p>(7) 西原町の綱引きの将来の展望は。 (どうなると考えているのか。)</p>	教育長

2. 国保の運営主体の県移管について	<p>来年4月に国民健康保険の運営主体が町から県へ移るということだが、本町においてはどう影響するのか。国民健康保険アンケートによれば、隣の南風原町・与那原町は「上がる」、本町は「分らない」とあるが、メリット、デメリットなどあれば教えていただきたい。</p>	町 長
3. 住環境整備について	<p>前の6月議会において、字津花波16番地の角の窪地と小波津456番地の1の水路の蓋に生じた段差の問題で改善をお願いし、色よい返事を得たと思っていたんですが、どうなっているのか。</p>	町 長
4. 町の施設について	<p>(1) 町民体育館の2階のブラインドが、かなりひどい状態になっているが改善をお願いしたい。</p> <p>(2) 前の6月議会でも申し上げたとおり、町民陸上競技場(サッカー)の町民の利用が少なく、月1・2回は町の小中学生に無料使用をお願いしたいがどうなっているのか。また、利用方法の明確化、料金表の改善はなされたか。</p>	教育長
5. 小中学生の登校について	<p>スポーツ庁が全国の小学5年生と中学2年生を対象に実施した全国体力テストに合わせて実施した運動習慣などの調査で、県内の小5男女の歩いて、登校率が全国最低とのことである。本町の現状はどうなっているか。</p>	教育長
6. 火葬場の建設について	<p>現在の状況は、どうなっているのか。 うれしいニュースなどあれば、伺いたい。</p>	町 長

質問者	⑧ 喜納昌盛議員	質問の相手
1. まちづくりについて	<p>(1) 町長任期の4年毎に策定するとした実行計画はどうなっているのか。</p> <p>(2) 西原町都市基本計画（都市マスタープラン）の見直しの進捗状況は。</p> <p>(3) 西原中心核まちづくり基本構想を含め、公共施設の年次的改築の計画は。</p> <p>(4) 議会活性化調査特別委員会設置が2015年6月議会で決議され、先月までに38回の委員会が持たれ、12月には最終報告がなされる運びである。2012年に「西原町まちづくり基本条例」が施行され、議会も条例に則った改革を目指している訳だが、町当局の考えを聞きたい。</p>	町長
2. 諸施策について	<p>(1) 西原町の学校給食費は公会計処理だが、私会計との違いは何か。</p> <p>(2) 以前、町教育委員会は「琉球舞踊鑑賞会」を町内小中学校で実施していた。町文化協会と連携し、児童・生徒の情操教育、沖縄の芸能・伝統文化を体感させる事業を復活できないか。</p> <p>(3) 先の大雨で、平園地域、小那覇地域、上地区でも西地区土地区画整理地内で大水害が発生した。住民説明会後の対策は進んでいるのか。</p> <p>(4) 上原棚原土地区画整理事業の清算業務はどうなっているのか。</p>	<p>教育長</p> <p>建設部長</p>

質問者	⑨ 大城好弘議員	質問の相手
1. 執行予算について	<p>(1) MICE事業に関して、6月に県の予算交渉等、進捗について</p> <p>西原町、与那原町は、県庁に要請行動を行ってまいりましたが、次年度の一括交付金の予算が厳しい状況である。事業計画を半年遅れ開始変更とのことですが、県の対応についてお聞きする。</p> <p>ア. 県は、中部市町村会とMICE事業の説明、ヒヤリングが行われている。具体的内容について</p> <p>イ. 本庁のMICE後背地の都市計画の影響について</p> <p>ウ. 予算確保について</p> <p>本町の要請行動計画を積極的に進めるべきと考えるが、町長見解を求める。</p>	町長
2. 農産物直売所について	<p>(1) 次年度の一括交付金は減額で厳しい状況にあるが事業計画への影響についてお聞きする。</p> <p>(2) レストラン部分が一括交付金の対象外確定、事業費額について</p> <p>(3) 歴史資料館の運営について</p> <p>ア. 当該施設の利用目的と概要について</p> <p>イ. 資料展示等について</p> <p>ウ. 施設の維持管理費、年間のランニングコストについて</p> <p>エ. コスト削減のため、入館料を徴収するべきと考えるが。</p>	

<p>3. 水害の対策について</p> <p>4. 税徴収について</p>	<p>(1) 水害の状況について</p> <p>ア. 町長は小波津川の早期整備の要請を行っている。 小波津川の水害について</p> <p>イ. 道路冠水被害について</p> <p>ウ. 地滑りの道路の被害について</p> <p>エ. 西地区土地区画整理事業内のM駐車場の浸水被害、苦情の状況について</p> <p>(1) 固定資産がない者に、税納付書が送付されて迷惑との苦情があり。その事務手続きについて</p> <p>ア. 事務処理上の説明を求める。</p> <p>イ. ミスの発生件数。</p> <p>ウ. クレーム処理の対応について</p>	
<p>質問者</p>	<p>⑩ 大城純孝議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1.(株)西原ファームに対する債権放棄について</p>	<p>(1) 6月議会の後、西原町及び耕作放棄地解消対策協議会は貸付金の3000万を再建支援の為、放棄をするという決定をしたが、この手続きはどうされたのか伺う。</p> <p>(2) 直接の債権者である耕作放棄地解消対策協議会は異論なかったのか。</p> <p>(3) 債権放棄後の対策協議会は、責任と説明はどのようにするのか伺う。</p>	<p>町長</p>

	<p>(4) (株)西原ファームの自立は計画どおり進むと当局は判断しているのか伺う。</p>	
<p>2. 大型MICEについて</p>	<p>(1) 大型MICE施設の建設、開業は2020年度目標がきびしいと思うが、今、東海岸地区の市町村でどのように国、県へ要請していくのか伺います。</p> <p>(2) 本町は大型MICE施設に隣接した地域で周辺土地利用を含めたインフラの整備を急がなければならないと思います。今、進めている計画等はどうか進捗を伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 国民健康保険制度について</p>	<p>(1) 来年度からの県への移管を含めて、予定どおりなのか伺います。</p> <p>(2) 保険料のばらついている状況はどのように調整されるのか伺います。</p> <p>(3) 窓口対応はどうなのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 財政について</p>	<p>(1) 本町の財政運営は税収の増加をどのように考えているのか伺います。</p> <p>(2) 人口の増、企業の誘致等で年次的な目標があるのか伺います。</p> <p>(3) 国保への繰入はどうか伺います。</p>	<p>町 長</p>

質問者	⑪ 前 里 光 信 議 員	質問の相手
1. 町政について	<p>(1) 西原西地区、区画整理事業について</p> <p>ア. 工事全体として今の進捗状況はどうなっていますか。</p> <p>イ. 高圧線（鉄塔）の移設事業はどこまで進んでいるか。</p> <p>ウ. 県道浦添-西原線と交わる地域は現在どうなっているか。</p> <p>エ. 区画整理地区内にある住宅等の移転保障は何パーセント完了し、残りはどういう形で進んでいるか。</p> <p>(2) 所有者不明の土地は町内にどれ程存在しているか。その管理については今どうなっているか。</p> <p>(3) 里道は国から市町村にその管理所有は移動したと理解しているが町内に何箇所あるか、またその面積はどれ程あるか。それにその利用状況はどうなっているか。</p> <p>(4) 西原町に存在する工業専用地域にある企業は何社あり、そこから入る税収はどれ程ですか。</p> <p>(5) 東部清掃施設組合議会の解散について</p> <p>ア. 解散とその後の同事業のあり方についてどのような運営になるか、次の事業の実体が具体的に進んでいない現状から問題はないと考えているのか。</p> <p>イ. その構成市町村の議会で十分な説明と議決が必要と思うがどうなっているか。</p> <p>ウ. 東部清掃施設組合と糸豊清掃施設組合の合併についての法的な手続き及びその事業に係る予算の獲得は国や県と話はどうなっているか。</p>	

<p>2. 教育行政について</p>	<p>(1) 子ども達の夏休みが終り学校が始まりましたが、その夏休みの時期や期間は二学期制と三学期制は異なりますか。またこの時期、登校しなくなる生徒もでてくるとも聞くがどうですか。</p> <p>(2) 今回の全国学力、学習状況調査の結果について、町内の生徒にどのような変化がありましたか。</p>	
<p>質問者</p>	<p>⑫ 伊 計 裕 子 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 小波津川整備事業について</p> <p>2. 就学援助制度について</p>	<p>6月19日の大雨による小波津川氾濫によって、平園・小那覇地域では床上・床下浸水や車の被害が多くあった。7月20日には県中部土木事務所・町土木課による住民説明会「小波津川整備事業に関する意見交換会」が行われ、多くの意見が出された。そこで、以下の3点について伺う。</p> <p>(1) 検討すると回答されていた①情報伝達のあり方、②消毒液、③土のうについての検討結果</p> <p>(2) 整備事業完了前の台風や大雨の際の具体的な対応</p> <p>(3) 平成35年度完成予定とのことであったが、少しでも早くすることはできないのか。</p> <p>(1) 就学援助制度の周知方法を工夫したことにより利用者が増えたのかお聞きする。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>

<p>3. 子ども医療費について</p>	<p>(2) 入学準備金の前倒しについては、沖縄県内でも5市町村が来年度から小中学で実施とのことである。検討結果を伺う。</p> <p>子ども医療費現物支給に対する国のペナルティ制度は2018年度には廃止ということだが、西原町としては来年度から実施いただけるのか伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>4. 教職員の労働環境改善への取り組みについて</p>	<p>教職員の出退勤時間の管理について、エクセルデータで管理（職員が個別に入力、中学の部活での時間も入力）とのことであるが、以下のことをお聞きしたい。</p> <p>(1) 実施開始時期・状況</p> <p>(2) 3年間保存義務があるが保存状況</p> <p>(3) 教育委員会としての具体的な対応策</p>	<p>教育長</p>
<p>5. 国保の県単位化について</p>	<p>来年4月から国保の運営主体が市町村から都道府県に移る制度変更を前に、沖縄県保健医療部が8月30日に県内41市町村の1人当たりの保険料の試算を公表した。西原町は、2015年度一人当たりの実績保険料（69,976円）に比べて17年度試算結果（86,433円）は、16,457円の増額となる。町民の負担を軽減するために、一般会計からの繰り入れをどの程度考えておられるか。また、国に対しては引き続き沖縄県の市町村国保に対する特別な財政支援を求めていくべきだと思いがいかか。</p>	<p>町長</p>
<p>6. 食の安全・安心について</p>	<p>子どもたちへの安全・安心な給食を考える上で、学校給食センターでは食材の放射線測定が行われているのかお聞きしたい。また、「主要農作物種子法」の来年4月廃止に伴い、米や大豆、麦などの主要農作物の種子が安定生産・供給、安全も危惧されるが認識を伺いたい。</p>	<p>教育長</p>

質問者	⑬ 屋比久 満 議員	質問の相手
1. 教育行政について	<p>文部科学省は8月28日、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に4月に実施した、全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の結果が公表された。県内の小学校は、国語A(73%) - 2、国語B(57%) - 1、算数A(81%) + 2、算数B(46%) ± 0、全4科目ともほぼ全国平均で、全国水準に近づきつつあります。</p> <p>一方県内の中学3年生は、国語A(72%) - 2、国語B(67%) - 5、算数A(58%) - 7、算数B(42%) - 6、と全て全国平均以下の結果であります。そこで伺います。</p> <p>(1) 町内小学6年生の4科目の結果はどうであったか伺う。</p> <p>(2) 町内中学3年生の4科目の結果はどうであったか伺う。</p> <p>(3) 今年の中学3年生は、小学6年時には、算数Aが全国上位にはいり「躍進」した世代であるが、全国平均を下回ったのは、どういった要因があるのか伺う。</p> <p>(4) 親の経済状況と学力に相関関係があることも明らかになってきているとあるが、本町の状況はどうか伺う。</p>	教育長
2. 避難所指定公立校の災害時の備えについて	<p>文部科学省の調査によると、県内の公立学校では、断水時のトイレ(12%)、電力(14%)、飲料水(35%)、物資備蓄(32%)、通信手段(64%)といずれも全国平均より低い。そこで伺います。</p> <p>(1) 本町では、小学校・中学校で避難所指定校は何校あるか伺う。</p> <p>(2) 上記5つの備えは、それぞれ何%か伺う。</p>	教育長

<p>3. 去る6月の豪雨災害について</p>	<p>記録的な豪雨で小波津川が氾濫し、床上浸水・床下浸水等で被災した住民や工場関係者も多数いたとおもいます。そこで伺います。</p> <p>(1) 現在、小波津川改修事業を行っているが、氾濫した要因を伺う。</p> <p>(2) 床下浸水は何件か、床上浸水は何件か、車両の水没は何台か伺う。</p> <p>(3) 災害避難所に避難した方々は何名か伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 農水産物流通・加工・観光拠点施設について</p>	<p>HPでは農水産物流通・加工・観光拠点施設事業の完成年度は平成30年度開設(予定)であったが9月1日の当局の説明会では平成32年1月オープンで基本設計(H28年3月時点)の総事業費概算額は14億600万円であったが議員の反対等もあり、このままでは町民の合意が得られないということで12億9,500万円の基本設計減額案を提示した経緯だが、9月1日の説明会では建築実施設計後の総事業概算額では、13億5,800万円になる。との話であったが、そこで伺います。</p> <p>(1) 9月1日の説明会では(ケース1)ではH32年1月オープンとあるが、(ケース2)ではH33年1月オープンで総事業費概算額はおおよそ幾らになるか伺う。</p> <p>(2) 当初の計画ではカフェレストランであったと思うが、町のホームページでは、地域食材提供施設となっているが、何故そうなったのか伺う。</p> <p>(3) シンボルロードの進捗状況と、完成年度を伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. MICEについて</p>	<p>報道によると「8月25日翁長県知事は、2020年度9月開業を目指していたが、基本設計と実施設計に必要な一括交付金が決定されない状況で8月末までに見通しが立たなければ開業が遅れると認めた。」とあるが、そこで町長に伺います。</p>	<p>町 長</p>

	<p>(1) MICEの総事業費513億円のうち8割を一括交付金充てる予定であったが、サンライズ協議会では、どのような打開策を検討しているのか伺う。</p> <p>(2) サンライズ協議会でMICE住民決起大会を開催して県知事をバックアップする考えはあるのか伺う。</p> <p>(3) 本町のMICE後背地の兼久・小那覇地区の土地利用見直しの現状を伺う。</p> <p>(4) 東崎兼久線の進捗状況と、完成年度を伺う。</p>	
質問者	⑭ 伊波時男議員	質問の相手
1. まちづくりについて	<p>(1) 大型MICE施設建設が来年度の沖縄県予算に計上されない事が、マスコミ等から報道されたが町当局の見解は。</p> <p>(2) このまま、MICE施設建設が進まない状況で、西原町の将来のまちづくりに、どのような影響がでてくるのか伺う。</p> <p>(3) 都市モノレール延伸実現化への推進する西原町まちづくりフォーラムを開催されたが、町当局の見解を伺う。</p> <p>(4) 都市モノレール延伸計画案の中で予算等の話題も出たが、延伸距離、駅数等において総予算と西原町の持ち分の予算額はいくら位になるか。</p>	町長

<p>2. 土木行政について</p>	<p>(1) 町長は去る8月14日県庁で土木建築部長を訪れ、県道浦添・西原線の改良と氾濫の危険性が高い小波津川の早期整備を要望された様ですが、具体的な内容は。</p> <p>(2) 県道29号線の西原地域、特に上原交差点よりオキコ前交差点までの工期等についての進捗状況は。</p> <p>(3) 棚原の幡歯科前交差点は問題提起してから7年目になるが、旧道路が残る形で計画、一部実施され、棚原自治会より交差点改良要請もしたが、いまだに県より報告がされていません。又、前回の質問では「県警および県公安委員会で協議が続いて、結論が出ていない」との回答でしたが、その後、進展はあったか伺う。</p> <p>(4) 西原町は指名競争参加において磁気探査業務について、管理技術者資格と測量士の有資格者より磁気探査技士の資格を提示されたと聞くが確認したい。</p>	<p>町長</p>
<p>3. 文化行政について</p>	<p>国が市町村の文化財活用支援に地域振興へ中間報告がまとめられ、文化庁は報告をふまえ、来年度、通常国会に文化財保護法改正案を提出する事になるが、具体的な内容と町内文化財との関係もあるのか伺う。</p>	<p>教育長</p>

質問者	⑮ 宮里洋史議員	質問の相手
1. 豪雨被害	6月の大雨の災害について、小波津川流域以外も被害がある。今後の対策を伺う。	町長
2. 預かり保育について	幼稚園の預かり保育について一律 5,000 円で実施しているが、保育料のように階層分けしてはどうか伺う。	教育長
3. 小学校建替について	坂田小学校の建替工事が進み、その際グラウンドの使用に制限がかかり、クラブ活動での影響があった。今後の学校施設の工事の予定とグラウンド使用への影響を伺う。	教育長
4. 国民健康保険特別会計の赤字について	本町の累積赤字は大きく、現在緊急アクションプランで赤字解消に向けて取り組んでいるが、今までの繰入額と保険料水準を伺う。(類似町村)	町長
5. 一括交付金	8/30 の内閣府概算要求の沖縄振興予算のうち一括交付金は 1,253 億円で平成 29 年度実績の 1,358 億円から 105 億円減った。これによる西原町の配分額への影響や農水産物流通加工観光拠点への影響を伺う。	町長
6. M I C E 施設	予算目途が立たない M I C E 施設であるが、現在の状況を伺う。	町長
7. 観光産業	東海岸も観光について観光協会も含め、今まで以上に議論されてきているが、今後の展望を伺う。(組織・役割等)	町長

質問者	⑩ 長浜 ひろみ 議員	質問の相手
1. 妊婦さんの健康相談	(1) 周産期医療センターの新生児集中治療室が満床のようです。母子ともに健康な出産めざして本町の母子手帳配布はどのような形式でおこなうのか。	町 長
2. 老人福祉	(1) 高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、町の公共施設の割引制度における現状と今後の考えを伺います。 (2) 認知症高齢者の生活支援を伺う。	町 長 町 長
3. 教育行政	(1) 文部科学省の学校給食に関するアンケート調査はいつ頃実施予定しているのか。 (2) どのような内容なのか。 (3) アンケート結果は町長公約の給食費無料化にどのように反映されるのか。	町 長
4. こども医療費助成事業について	(1) 2018年度よりスタートする窓口無料化に向けて本町の取り組みについて伺います。 (2) 沖縄県のアンケート調査への本町の回答結果を伺う。	
5. 農水産物流通加工観光拠点施設について	(1) 施設約14億、そのうち町負担2億8千万、利子を含めての総額を伺う。	